

～広報活動の戦略化を知り、伝える力を身につける～ 講演会「技術士の魅力を伝えよう！」を開催

1. はじめに

当委員会では、若手技術士・技術者の技術力向上をテーマに、定期的に研修会を開催しています。

今回は、報道機関からお二人の講師をお迎えし、戦略的な広報、マスコミとの連携の方法について学び、技術士の魅力を一般の人々に伝えていくこと、ひいては、それらが技術士の知名度向上につながっていくことを目指して、講演会を開催しました。

2. 開催概要

○日 時：平成 26 年 1 月 27 日(月)

○場 所：KKR ホテル札幌(中央区北 4 西 5)

○参加人数：29 名(うち、幹事 13 名)

○プログラム

15:00～16:15 講演①「技術士の市民化」

(株)北海道建設新聞社

取締役企画部長 荒木正芳さん

16:15～17:30 講演②「伝える力のノウハウ」

(株)北海道新聞社 営業統括本部

マーケティングセンター長 日浅尚子さん

17:30～19:30 意見交換会

3. 講演①「技術士の市民化」

北海道建設新聞社の荒木正芳さんより、技術士は一般の人々とどのようにコミュニケーションを取っていけるか。また、広報をしていく上での注意点について講演を頂きました。

(1)一般の人々とのコミュニケーションの現状

名刺に“技術士”と書いても、一般の人々には分かってもらえない現状や、技術士の知名度が低い理由について、いくつかお話を頂きました。その上で、

人々は、誰かに尽くそうとする姿勢や、熱意・諦めない姿勢、勇気ある行動などに共感するもので、それらは技術者が持ち合わせている資質そのものであるのだが…、阪神淡路大震災や東日本大震災などで、警察や消防、自衛隊などが現地にたどり着く前に、最前線で活躍をした建設関係者の姿は、一般の人々の目には届かなかった…。このような現状を変えていかなければ、とのお話を頂きました。

(2)広報の基本的な考え方について

建設業界の広報活動が失敗してきた背景には、より多くの人に、より多くのことを伝えたいというスタンスで、情報発信の内容が散漫であったことを指摘されていました。それを踏まえて、広報の基本は誰に何を伝えたいかを明確にすることであり、単なるイメージアップ作戦にとどまらず、建設業界やインフラの重要性を理解してもらうことを目指して、戦略的に広報活動を行っていくことが重要だということをお話し頂きました。

講演の終盤では、実際に広報活動を行う際のプレスリリースのルール、記者クラブへの投げ込みの方法・タイミングなどについて、解説を頂きました。



写真-1 荒木正芳さんによる講演の様子

4. 講演②「伝える力のノウハウ」

北海道新聞社の日浅尚子さんより、一般メディアが技術士のことをどうみているか。また、技術士の活躍を伝えていくための具体的なテクニックについて講演を頂きました。



写真-2 日浅尚子さんによる講演の様子

(1) 一般メディアは技術士をどうみているか

北海道新聞の過去の記事から、国家資格をキーワードに検索すると、ヒットする数は、弁護士 33,000、税理士 3,000、建築士 1,100、弁理士 300、技術士 200 となった…。しかも、ほとんどの記事で“国家資格の技術士”のような記述となっており、記者の目からみても技術士の認知度は低い、という現状があることをお話し頂きました。

(2) 広告・広報の違いと、その活用について

広告は、料金を払い、アピールしたいことを好きなように表現し、好きなときに発信できるもの。広報は、メディアの視点で取材して、値のある記事が発信されるもの。というように、それぞれの機能や役割が違うことを解説して頂きました。その上で、今は新聞社などの報道機関でも、自分たちのことをうまく伝えるように努力している時代で、広告・広報を上手に使い分けて、効果的に情報を発信していかなければ、とのお話を頂きました。

(3) 技術士の活躍を効果的に伝えていくために

まずは、“記者”という人たちを知ってほしい。との切り口で、記者の方々の特徴として、好きなもの＝新しさ・社会性、嫌いなもの＝強要・うそ、役割＝取材して記事を作ること(掲載の権限はデスク)、忙しい＝日中に取材・深夜が締切、などをあげられ

ていました。その上で、記者が取り上げたいと考えている話題は、公共性がある人々の暮らしに関わること、事件・事故などの地域に関連すること、他に例のない画期的なこと、などだということを念頭に、いいネタをいいタイミングで提供することが、記者を書く気にさせる＝記事になる可能性を上げるための、効果的な方法だと教えて頂きました。

5. おわりに

お忙しいところ、快く講演を引き受けてくださったお二人の講師に、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

当委員会では、若手技術士・技術者の技術力向上を目指して、今後も定期的に研修会を開催していくとともに、技術士の知名度向上に向けて、新たな活動にも取り組んでいきたいと考えています。幹事一同、皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

EPO に登録しましょう！

日本技術士会北海道本部の会員・準会員・会友のすべての方を対象にしたメーリングリスト EPO。本メーリングリストでは、当委員会だけでなく北海道本部の各委員会が開催する研修会などの行事予定をいち早く把握することができます。

登録を希望される方は、①氏名、②所属、③会員・準会員・会友の該当、④メーリングリスト登録希望の旨を明記して、以下までメールをお送りください。

EPO 登録申込みアドレス

seigikyo@ipej-hokkaido.jp

facebook で情報を発信しています！

当委員会が主催する研修会などの情報を随時発信しています。facebook アカウントをお持ちの方は「青年技術士交流委員会」で検索し、「いいね！」をお願いします。

一緒に活動する仲間：幹事を募集しています！

当委員会の研修会などを一緒に企画・運営したりする仲間：幹事を募集しています。まずはお問い合わせ下さい。

seigikyo@ipej-hokkaido.jp